

石神井南中学校の生活（生徒用）

礼儀を身につけ、ルールを守って、楽しい学校生活をしよう

1. 石神井南中学校の教育目標

多様性の時代に、主体性と寛容性を併せもち、他者と力を合わせてよりよい社会を創る人

- ー 自分と他者を共に認める人
- ー 自ら学び、社会で生かせる人
- ー 自他の健康を考え、実践する人

2. 学校生活の上で大切なこと

(1) よく考えて行動し、自分の行動に責任をもちましょう。

社会の中、各家庭の中でそれぞれやる仕事が分担されているのと同じように、学校・学級の中でそれぞれ自分たちの仕事や役割分担をし、お互いに協力して責任をもって行動、活動することが大切です。

- ① 遅刻をしないようにしましょう。午前8:25の時点で着席していないと遅刻になります。
- ② 委員、実行委員は（ア）あいさつができる人
 - （イ）ルールを守れる人（髪、服装等）
 - （ウ）他の生徒の模範となれる人

(2) 心のこもったあいさつをしましょう。

- ① 「おはようございます。」「さようなら。」「ありがとうございます。」「失礼します。」「すみません。」「はい。」「ごめんなさい。」
- ② 外来者（お客さん）や先生には、あいさつをしましょう。
- ③ 職員室の出入りは、用事のある本人だけが入りましょう。また、用事が済んだら、すぐ退室しましょう。（先生方は工作中、高校の先生も来校しています。）
- ④ 職員室の入退室には、①ドアを叩く（2回）→ドアを開ける、②「失礼します。」→礼をする→1歩入る、③「〇年△組、石南 太郎です。」、④「□□先生お願いします。」「△△先生はいらっしゃいますか。」、⑤「失礼しました。」→ドアを閉める、の順に行いましょう。カバン等の荷物は廊下に置き、マフラー、手袋、コートを取り、服装を整えから入室しましょう。8:15～は職員打ち合わせの為入室はできません。

(3) 学習にしっかり取り組みましょう。

- ① 10分休み・昼休み
 - ・10分休みは、次の授業の準備の時間であることを自覚しましょう。
 - ・特別教室には、早めに移動し、チャイムが鳴り終わるまでには着席しましょう。
 - ・危険な遊びはやめましょう。（登校～下校まで）
 - ・昼休みは校庭で遊んでも良いです。予鈴がなる前に遊ぶのをやめて、貸し出し用のボールをきちんと返し教室に戻りましょう。 ※ボールは生活委員が管理

② 学習準備

- ・家庭でしっかり授業準備をして登校しましょう。
- ・チャイム前着席を心がけましょう。
- ・教科の係は、担当の先生の指示にしたがって、責任を果たしましょう。
- ・座席は、クラスで決めた席に座りましょう。
- ・もし、授業担当の先生が授業開始の5分後になっても来ないときは、学級委員が職員室へ確認に行きましょう。

③ 学習時間

- ・最初と最後の挨拶（礼）をしっかりとしましょう。
- ・学習中は、集中して真剣に取り組みましょう。（他の人の学習権を保障する。）

(4) 持ち物

- ① 持ち物にはきちんと名前を書きましょう。
- ② 「家に持って帰らなければいけない物」を確認し自己管理をしっかりとしましょう。また、他人の物には絶対に触らないようにしましょう。
- ③ 家の人から、忘れ物などで学校に届けるときは、学年・クラス・氏名が分かるようにして、職員室の先生に預けてもらいましょう。
- ④ お菓子類（アメ、ガム等）、ジュース等は持ってこないようにしましょう。
- ⑤ 貴重品（主にお金）は絶対に持ち込まず、集金がある場合は朝のうちに担任や担当の先生に預けましょう。
- ⑥ 不要物（携帯電話、マンガ、雑誌、トランプ、ゲーム、玩具類、（CDなど）、危険物（刃物、ライター等）は持ってこないようにしましょう。もし発見した場合は学校で預かり、原則として後日、保護者に返却します。
- ⑦ 通学用のカバンは両手が空く物にしましょう。
- ⑧ 自分の傘は昇降口の所定の傘立てに置きましょう。高価な傘は持ってこない。
- ⑨ 上履きを忘れてしまった場合、職員室で貸し出しノートに名前を書いて、スリッパを借りましょう。下校時に必ず返却しましょう。

(5) 学校施設の利用

- ① 廊下の消化器、非常ベル、防火シャッターには絶対に触らないようにしましょう。
- ② 公共物は大切にしましょう。
- ③ 机・イス・黒板・壁に落書きや穴を開けないようにしましょう。
- ④ 立ち入り禁止場所に入らないようにしましょう。
- ⑤ 学校のものは先生に許可を得て使用しましょう。

(6) 事故・破損について

- ① けが・急病のとき
授業中・休み時間や放課後にケガをしたり、気分が悪くなったりしたときには先生に連絡し、保健の先生に診てもらいましょう。
- ② ガラス・備品などを破損したとき
ガラスを割ったり、割れているのを発見したりしたら、すぐに先生に連絡をして指示を受けましょう。また、けがをしないように片付けましょう。備品についても同じです。

- ③ 紛失物・拾得物があったとき
気が付いたら、すぐ担任や近くにいる先生に連絡しましょう。
- ④ 学校での生活を安全に送ってもらうために、全ての先生が見守っています。何かあったときには、担任・学年の先生に関わらず、知らせてください。
- (7) 下校
- ① 下校時刻を守りましょう。最終下校時間は18時30分です。
- ② カーテンは開けて両側に寄せましょう。
- ③ 放課後の活動については、①委員会 ②クラス ③部活動の優先で活動しましょう。
- ④ 下校時刻が遅くなるのが前もって分かっている場合は、家庭に連絡しましょう。
- ⑤ 下校後は寄り道、買い食い、立ち話をせずに直ぐに帰宅しましょう。
- ⑥ 通学途中では、交通規則・道徳を守り、自分から安全を確保しましょう。また、自転車での通学は禁止です。
- ⑦ 下校後の再登校は、標準服又はジャージで登校しましょう。また、部活動の再登校は、顧問の先生の指示に従いましょう。
- (8) 諸届
- ① 欠席・遅刻・早退・忌引きなどすべて
保護者の方に必ず連絡をお願いしましょう。前日までに分かっているときは、手紙、生徒手帳、電話などで保護者の方が連絡するようお願いしましょう。
＜当日欠席連絡をする場合＞
生徒手帳に記入して友人に届けてもらうか、朝7:45～8:10の間に、保護者の方が直接学校に連絡するようお願いしましょう。
- ② 体育の見学届について
見学する当日、生徒手帳の連絡欄に保護者に記入してもらい、体育の先生に見せましょう。
- (9) 休日登校
- ① 休日に登校して学校の施設を利用するときは、直接指導する先生の許可が必要です。許可なく登校しても、校舎に入ることはできません。なお、登校したら、指導の先生にあらかじめ認められた場所以外には立ち入りはできません。
- ② 登下校時刻はきちんと守り、指導の先生の指示に従いましょう。また、部活動の場合は、各部の活動の決まりを守りましょう。
- ③ 登下校の服装は、指導の先生の指示により、標準服かジャージ・練習着とします。私服による登校は認められません。試合で他校へ行く場合も同じです。
- (10) 服装・頭髪・身だしなみ
- ① 登下校時及び学校内では標準服を着用しましょう。
- ② 冬服は、男子は学生服、女子はセーラー服を必ず着用しましょう。寒い場合、セーターを着用できます（色は黒・紺・グレーのみ）。ただし、上着からはみ出たり、セーターの袖口で手が隠れたりしないようにしましょう。また、アンダーシャツは白（ワンポイント(左胸)は可)にしましょう。
- ③ 夏服はワイシャツ、ブラウスを着用しましょう。（寒い場合は長袖でも可）
※長袖の袖を折る場合は、だらしないようにきちんと折りましょう。

- ④ 変形ズボンや短いスカートは禁止です。(スカートは膝頭中央部位にかかるようにしましょう)
- ⑤ 靴下は無地(白・黒・紺・グレー)を原則(ワンポイント可)とします。儀式(入学式・卒業式・離任式)、文化発表会においては、女子は黒か紺のハイソックス、男子は肌が見えない長さの黒か紺の靴下を履きましょう。
- ⑥ 通学時は防寒着としてコート、マフラーを着用しても構いません。ただし、マナーとして昇降口で着脱し、校舎内では脱ぎましょう。
- ⑦ 冬服の着用期間に、タイツもしくはヒートテックタイツの着用は認めます。色は黒無地とします。
- ⑧ ピアス、ネックレス、指輪、ブレスレット等の装飾品は禁止です。
- ⑨ 男女共に学校生活にふさわしい頭髪に心がけ、パーマ、染色、脱色、剃り込み等は止めましょう。また、整髪料は付けないようにしましょう。
(男女とも前髪は目にかからない程度。男子は、後ろ髪は襟にかからないようにしましょう。また、急に髪の長さが変わるような髪型にならないようにしましょう。)
- ⑩ 女子は、髪が肩にかかるの長さの場合は髪の毛を縛りましょう。髪留め(ピン等)は目立たぬ物で、ゴムは黒・紺・茶を使用しましょう。
- ⑪ カバンの飾りは派手にならないように目印程度にしましょう。
- ⑫ 上履きはかかとを踏まずにきちんと履きましょう。
- ⑬ シャツはズボンから出ないようにしましょう。ズボンは腰ではかないようにしましょう。靴のかかとは見えるようにしましょう。
- ⑭ 化粧、マニキュア等は禁止です。リップクリームは薬用のものとし、無色、無臭のものを使用しましょう。(トイレで使用し、廊下や教室では使用しない。)
- ⑮ 眉毛は細くしない。
- ⑯ 登校、下校時の靴は体育の授業でも使用できる運動靴にしましょう。
- ⑰ 日焼け止めやデオドラントシートを使用しても構いませんが、無香料のものにしましょう。
- ⑱ <防犯ブザーの使い方及び注意点について>
 - ・登下校時、その他外出時にカバンに付け、必要な時にピンを抜き、発信音で近所の人に知らせ、助けを求めましょう。
 - ・登校後や使用しないときには、カバンの中に入れておき、誤って音が出ないようにしましょう。また、ふざけて音を出さないようにしましょう。